

第45回総会・講演会を開催

化粧品原料協会

化粧品原料協会

は5月17日、第45回総会と講演会、懇親会を開催した。講演会では、調理師・栄養士専門学校を運営する服部学園の鈴木章生氏が「あなたも120歳まで生きられるく食の知恵・健康の知恵」と題して熱弁を振るった。

鈴木氏によると、普段に食生活は体内で作ることができない必須アミノ酸を多く含む卵や牛乳、肉、魚の摂取が必要であり、ニンニクなどの臭いが強い食材は米のデンプン質を完全燃焼させるアリシンを豊富に含んでいるため、ご飯に納豆、生卵、長ネギを組み合わせたことで栄養バランスのよい

また、日本人の主食である白米は、精米によってビタミンB1や繊維質のセロロースが失われているため、「大豆を原料とする豆腐や油揚げ、繊維質の多い根菜類を一緒に

訪販化粧品工業協会（訪粧協）は6月7日、第45回定時総会と懇親会を開催し、加盟各社が伝統に裏打ちされた販売チャネルを守り抜いて行くための方策を確認し合ったほか、今後消費者からの信頼を絶やさないため努力を継続していくことと決起した。



鈴木氏



木村会長

定時総会の冒頭では、鈴木弘樹会長が挨拶に立ち、また、少子高齢化社会の多様化に加え、「有効求人倍率は1・50倍という44年ぶりの高水準となっている。訪問販売員の確保が難しい状況で楽観視はできない」と負の実態に触れることも忘れず、会場の雰囲気を引き締めた。

鈴木氏は「今後、訪問販売員の確保が難しい状況で楽観視はできない」と負の実態に触れることも忘れず、会場の雰囲気を引き締めた。

訪販化粧品工業協会

定時総会と懇親会開催で足並み強化

鈴木氏は「今後、訪問販売員の確保が難しい状況で楽観視はできない」と負の実態に触れることも忘れず、会場の雰囲気を引き締めた。

述べて、参会者らの前へ向かった。一方で、鈴木氏は在宅率の低下や購入チャネルを喚起した。

訪販化粧品工業協会 定時総会懇親会



うとした。続いて、経済産業省商務・サービスグループ生物化学産業課長の上村昌博氏が挨拶に立ち、「化粧品業界は2016年に輸出額が輸入額を上回り、2018年もその傾向が続いている。原料の質の高さや日本の化粧品の品質や安心・安全性を支えている」と語った。

18年度も会員と有用情報を共有

日本輸入化粧品協会

日本輸入化粧品協会は5月31日、2017年度通常総会を開催した。レイコB・リスター前理事長の後任として理事長に就任した菅野沙織氏（レブロン社長）は、「就任後初めての総会なので緊張気味」としながらも議長を務め、2018年度の事業計画などを協議した。

◆資生堂、組織の一部改正・執行体制の変更・人事異動（7月1日付）

資生堂／那須工場立ち上げに向けたプロジェクトの推進強化を目的に、

「生産技術部新那須工場推進G」を強化・独立させ、「那須工場設立準備室」を新設する。▽久喜工場の量産技術開発および生産設備の管理・保全能力強化による供給力向上と安定稼働の実現をねらいに、「製造部設備管理G」を強化・独立させ、久喜工場内に「エンジンリンク部」を新設する。

資生堂ジャパン／パーソナルケアブランド事業本部の㈱エフティ資生堂の「事業計画部」「流通企画部」の機能を統合・再編し、ブランド×エリア・アカウントの戦略立案から予算策定、施策推進、店頭実現を一体的に担う「事業戦略推進部」を設置する。▽お客さま



菅野理事長

接点に近い小売企業への対応力強化をねらいに、「東日本営業統括部」「西日本営業統括部」を「アカウント事業部」と「東日本事業部」「西日本事業部」に再編する。

執行役員 グローバルICT本部長（執行役員）グロース・ラック兼 ICT戦略・プラットフォーム部長 亀山満

執行役員 サプライネットワーク本部長 付特

命プロジェクト担当 フロンティアサイエンス事業（執行役員 SN改革、生産技術、サプライ・購買統括、グローバル事業工場、フロンティアサイエンス事業） 保坂匡哉

資生堂／チーフストラテジーオフィサー（新規採用）留目真伸▽グローバルICT副本部長 兼 ICT戦略・プラットフォーム部長（新規採用）奥田光史

ルジェネラルカウンセル 兼 リーガル・ガバナンス部長 兼 リーガル・ガバナンス部長 依田光史

中公文